

地域医療研究会の今後の課題

エビデンスベースでの地域医療改革・地域包括ケアの実現

- 地域のデータ活用
- 国による積極的なデータの提供、データの整備
- 都道府県間のデータ・(先進)事例の共有

1. 地域医療構想の実現 (医療機能の最適配置)

- ① 地域医療構想と病床機能報告の機能別病床数の乖離 (要因分析と乖離の収斂方策)
- ② 各医療機関の具体的な機能分化 (病床機能の転換)
 - イ 急性期から回復期への病床の転換
 - ～ 各医療機関の病床機能の相対的・客観的な位置づけの「見える化」
 - ロ 慢性期の医療ニーズに対応する医療・介護サービスの確保
 - ～ 在宅サービスを含めた今後の具体的なあり方
 - ～ 療養病床の地域差の分析とその収斂
 - ～ データの整備 (地域医療構想と整合性を持った在宅・施設サービスの見込みなど)
 - ～ 市町村の介護保険事業計画との整合性
- ③ 都道府県の実効ある関与のあり方
 - ～ 地域医療介護総合確保基金の活用
 - ～ 都道府県の権限行使のあり方

2. 医療従事者の確保 (医療従事者の最適配置)

3. 平成 30 年度以降の更なる具体化の推進

- ① 地域医療構想 (構想区域、必要病床数など) と医療計画 (医療圏、基準病床数など) の関係
- ② 医療従事者の需給の推計等と医療計画の関係
- ③ 医療計画と介護保険事業 (支援) 計画の整合的策定
- ④ 医療・介護の連携体制の構築・推進
 - ～ データの整備 (地域医療構想と整合性を持った在宅・施設サービスの見込みなど、再掲)
 - ～ 保健・医療担当部局と介護・福祉担当部局間の連携強化
 - ～ 都道府県と市町村の協働・連携のあり方
 - ～ 官民連携のあり方、連携の主体づくり

4. 地域医療改革・地域包括ケアの実現に向けた都道府県の役割

- ① 地域差の分析とその是正 (医療・介護供給 (受益) の最適配置、医療費適正化計画等との関係)
 - ～ 一人当たり医療費 (受診率×一人当たり日数×一日当たり診療費)
 - ～ 一人当たり介護費 (認定率×サービス受給率×サービス利用者1人1月当たり費用)
- ② 医療と介護の連携 (切れ目のない医療・介護の提供、居宅等での看取り、多職種連携など) による地域包括ケアの実現 (市町村と連携した医療・介護サービス供給の最適配置)
- ③ 国民健康保険の都道府県単位化との関係
 - ～ 都道府県域内での受益と均衡した負担の最適化のあり方